
叶わない恋で10のお題

黒猫。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

叶わない恋で10のお題

【ZPDF】

Z9787P

【作者名】

黒猫。

【あらすじ】

叶う恋が正しい訳じゃない

叶わない恋が正しい訳じゃない

ある意味私の恋は、叶っているのかもしね

幸せ、って、なんですか

物知りの指輪

橙色の間接照明が、白いシーツに反射している
それに照らされた樹哉^{たかや}の顔は、いつもより心なしか暖かく見えた

「ねえ、それじゃあなんで、僕の隣にいるの？」

うつ伏せで腕を立てて、煙草をふかしながら樹哉はそう問うた
隣では、煙草の匂いがはじまる
あの人とは違う、煙草の香り
真美はぼうっと、自分の右手を照明にかざした

「そうねえ」

薬指に嵌めた指輪が照明に反射する

「あなたが、樹哉だから」

そう、樹哉だから

それ以上でも、それ以下でもない
あなたが、樹哉だから

「意味分かんないんだけど」

隣で、煙草をくわえた口元に笑みが浮かぶ
灰皿に灰を落として、此方の方を向いた

「そうね、いいのよ」

私は左手で指輪を弄りながら、田もあわせず、いつ
意味なんて、分からなくて良い
知らないくて良い

（ほんとうは只、あなたが、同じ文字を名前に冠していて、どこと
なくあの人によく似ているから興味を持つただけ、なんて、残酷すぎで
言えない）

「分からんなあ、真美さんは」

困ったように笑う樹哉に申し訳なさを感じながら、それでも田線は
指輪から外さなかつた
買って1年も経っていないのにぼろぼろになつてしまつて色も剥げ
てしまつた指輪
安物で、だけれど、この指輪は全てを知つているから、棄てること
ができるずに入る
あの人声も仕草も表情も、その肌も全て

「なに、考へているの」

唐突に掛けられた声に思考を遮断させられる
真美はかざしていた手を下ろした
何時の間に吸い終わったのか、それとも途中で火を消したのかは分
からないが、いつの間にか樹哉はベッドの中に潜つている

「樹紀さんのは」と

ひとつこと、そう言えば

「そつか、相変わらず一途だね」

そつ常套句を残して樹哉は黙ってしまった

私は、この人のこんな所が気に入っているのだと分かっている
余計な詮索はしない、咎めない
全て話したつて、大丈夫な人なのだ、この人は
そんな、都合の好い関係

ふと、腕を引っ張られて抱き寄せられる

「いいの、今僕の隣にいて」

少し、トーンの低くなつた声
妬いているのか、そうでないのかは私には分からない

「樹紀さん、真美さんのこと待つてるかもよ」

そう続けて、また黙る

こんなところは、愛おしい

今まで悶々と考えていたことは、全て遮られてしまった

「私は、そんな立場ではないのよ」

暫くして出た自分の声は意外にも落ち着いていて、その意外さの動
搖を隠すために背中に手を回した
手を回せば、途端に愛おしくなる
心はここには無いのに
あの人にとっての私も、そんなものなのだろうか

「ね、もういいでしょう」

これ以上、余計なことを言わないように
これ以上、現実を見ないようにな
今度は、自分でも恐ろしそほどの甘い声を出して、さりげなく、わ
ざとらしく、足を絡めた

「こつもすのいね、真美さんは」

樹哉はやつ置いて弱々しく笑って、真美の首筋に顔を埋めた

01・貴方の隣にいるのは私ではなくて
(でも、私の隣にいるのも貴方ではなくて)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9787p/>

叶わない恋で10のお題

2011年1月9日02時22分発行